

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	八幡屋公園
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	八幡屋公園の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・運営、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との各種連絡調整等）
成果指標	利用者満足度
数値目標	85%以上
指定管理者名	スポーツパーク八幡屋活性化グループ 【構成員】 （一財）大阪スポーツみどり財団 ㈱COSPAウエルネス 美津濃㈱ イオンディライト㈱ ㈱加藤商会
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月31日
評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度
数値目標	85%以上
年度実績	90%
達成率	105.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	－	－	－
稼働率	－	－	－

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	74,786,644	74,785,644	0	
	計画	74,786,644	74,785,644		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	30,637,000	26,469,476	10,337,000	当初計画以上に大会やイベントを開催することができたことにより、公園及び施設利用者が増え、イベントに係る収入や自動販売機等の収入が増加したため
	計画	20,300,000	20,300,000		
合計	実績	105,423,644	101,255,120	10,337,000	
	計画	95,086,644	95,085,644		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	25,226,253	24,909,823	2,808,577	当初計画以上にイベントを開催することができた反面、イベントへの対応や地域との連携による会議への出席等によって経費が増加したため
	計画	22,417,676	22,336,676		
物件費	実績	62,968,630	62,402,416	3,202,662	防災力の強化に向けた備品の更新、駐車場利用者のカード決済手数料、経年劣化による駐車場の修繕及び新しい遊具（小学生向け大型ブランコ）の設置等に係る経費が増加したため
	計画	59,765,968	59,845,968		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	13,469,705	12,707,257	566,705	イベントに係るチラシ作成や公園使用料等に係る経費が増加したため
	計画	12,903,000	12,903,000		
合計	実績	101,664,588	100,019,496	6,577,944	
	計画	95,086,644	95,085,644		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
公園利用者満足度	105.9%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・新たなイベントの実施やイベント内容の充実により、来園者が増加し、自主事業収入が計画より大幅に増加した。 ・廃棄物の金属部分を分別し、有価物として売却することで、ごみ処理費用を削減するとともに収入の確保に努めていた。 ・花壇管理において、全体のバランスを考慮しつつ多年草や宿根草を活用することやジャカラランダの育苗、スイセンの分球、フジバカマの株分けを行い、花卉購入費を縮減する等、創意工夫を行っていた。 ・光熱水費及び備品等の購入費の縮減に努めていた。	B	利益配分金なし

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・施設の管理水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況であった。 ・利用者の安全・快適を第一に考え、日常の巡視点検をはじめ、安全確保のための施設管理を実施していた。 ・公園の魅力向上に向けた花壇管理やゾーニングに応じた植物管理を実施していた。 ・計画的な高木剪定を実施し、景観への配慮、事故防止等、樹木の保全育成に努力していた。 ・園内の落ち葉を堆肥化し、花壇のマルチング材として活用する等、環境に配慮した維持管理を実施していた。
事業計画の実施状況	A	・ホームページやSNSを活用し、花の開花や花壇情報、イベント情報等の発信に取り組んでいた。 ・フォトスポットの充実のため、インスタグラムで八幡屋公園フォトコンテストを開催し、公園の魅力向上に努めた。 ・「八幡屋公園活性化会議」（※1）を年6回開催し、公園の活用策や活性化について様々な団体の意見を聞き、企画考案を行った。また、地域と連携し、地域や施設が相互に活性化するための事業の実施や、各団体が開催する事業に協力及び参画し、地域活性化に寄与した。 ・「みなとOSAKAスポーツコミッション」（※2）による取組みを進め、スポーツやみどりに触れる活動を通じた健康増進、地域内消費の促進による地域活性化やスポーツSDGsの推進を図っていた。 ・地域団体や地元企業等と連携し、幅広い世代が楽しめるイベント「グリーンマーケット」を年7回を開催し、公園のにぎわいを創出するとともに、公園の自然と触れ合い、学ぶ機会を提供していた。 ・近隣小学校との連携による自然観察会（秋みつけ）開催時には、植物、昆虫、鳥等の生き物情報「八幡屋公園自然観察ガイドブック」を配付することにより、子どもの環境学習の利用を促進していた。 ・子どもの遊び場づくりとして、近隣小学生からヒアリングを実施し、大型ブランコを芝生広場に設置し、公園の利用促進に繋げた。 ・「犬猫マナーアップまるしえ」を季節毎（年4回）に開催し、遠方からの参加者や新たな来園者を増やすことによって、八幡屋公園の認知度を高めるとともに飼育マナーや意識の向上を図っていた。また、新規の取組として、夏季の夜間には「犬猫マナーアップ夜みせ」を開催し、夜間の公園をライトアップで彩る「ナイトレストラン」を出展していた。 ※1「八幡屋公園活性化会議」：（社福）大阪市港区社会福祉協議会、（一社）港まちづくり協議会大阪、（公社）シニア自然大学、近隣小学校、近隣郵便局、港区花みどり友の会、港区役所、スポーツパーク八幡屋活性化グループ等で構成している。 ※2「みなとOSAKAスポーツコミッション」：港区役所、（一財）大阪市コミュニティ協会港区支部協議会、（社福）大阪市港区社会福祉協議会、スポーツパーク八幡屋活性化グループ代表（一財）大阪スポーツみどり財団で構成している。
施設の有効利用	A	・八幡屋公園を大阪一のジャカラランダの名所とするため、令和5年度に16本の植樹を行い、当初の植栽計画である100本を達成し、現在の総数は116本に至っている。 ・「グリーンマーケット」、「八幡屋KOKOマルシェ」及び「パークdeスポーツ」等の「八幡屋クロススクエア事業」（※3）を推進し、スポーツ施設利用者と公園来園者、近隣住民の方が共に参加できる賑わい創出イベントを定期的に開催していた。 ・グリーンヒルズにおいては、四季折々の花を楽しめるよう、ヒマワリ、皇帝ヒマワリ、ナノハナの植栽、ハギの刈り取り後のライトアップ装飾等を行い、景観や魅力向上を図っていた。また、眺望案内看板を設置し、利用者サービスの向上に努めた。 ※3「八幡屋クロススクエア事業」：朝潮橋駅前エントランスエリアを「八幡屋クロススクエア【人々が交差する（＝つながる）広場】」と位置付け、八幡屋公園の玄関口として活性化していくもので、行楽シーズンや体育館でのイベント開催時において、パークインフォメーションやキッチンカーの出展、音楽コンサート、クラフト体験、スポーツ体験、自然学習体験等を実施している。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

社会的責任・市の施策との整合性	B	・全ての施設スタッフに対して人権、個人情報保護、コンプライアンス等の意識を定着させるよう、複数の研修を実施していた。 ・施設内のサインやポスターについては、ユニバーサルデザインの観点に基づくフォントやふりがな、ピクトグラム等を用い、多様な来園者の目線に配慮した高さで掲示していた。また、「バリアフリーマップ」の活用や授乳室・おむつ替えスペースのPRを行い、ユニバーサルな利用のサポートに努めていた。
-----------------	---	--

5 利用者ニーズ・満足度等

公園利用者へのアンケートを行い、「満足である」が57%、「やや満足である」が33%で、合計は90%であった。
「いつも綺麗に整えてくれてありがとう」、「癒しの場となっており満足しています」、「朝の挨拶が一日の励みになります」といった意見が多かった。

6 外部専門家意見

・自主事業収入が計画より大幅に増加しており、非常に評価できる。 ・公園の社会的役割を熟思した取組みがなされており、「八幡屋公園活性化会議」の開催等、地域との連携に引き続き力を入れるとともに、公園を活用しながら地域活性化へと繋げる「グリーンマーケット」等のイベントについても、昨年度と比較して実施回数・参加者数ともに増加しており、非常に評価できる。 ・グリーンヒルズ階段修繕を計画的に実施する等、施設の維持保全や設備の運転監視及び保安に努めており、評価できる。 ・近隣の小学生にアンケートを実施した上で「小学生向け大型ブランコ」を新設する等、サービスの向上を図っており、評価できる。 ・八幡屋公園を大阪一のジャカランダの名所とするため、当初の植栽計画である100本を超えてもお植樹を続ける等、前向きに取り組んでおり、評価できる。 ・単なる維持管理だけでなく、植物についての専門的な知識のもと高木剪定の計画的な実施やサクラへの透かし剪定等、適正な植物管理を行っており、評価できる。 ・多年草や宿根草の活用、既存植栽を活用した育苗・分球・株分け等により花卉購入費の縮減を行っており、評価できる。
--

7 最終評価

最終評価	評価項目	評価	所見
	成果指標の達成	B	・計画時の目標を上回っていることから評価できる。
	市費の縮減	B	・自主事業収入等が計画より大幅に増加しており、非常に評価できる。 ・大阪市への利益配分までは至らなかったが、経費削減の取組みの創意工夫は評価できる。
	管理運営の履行状況	A	・多様な組織と積極的に連携を図り、様々な情報交換や交流を行うとともに、地域団体や地元企業等と連携して各種イベントを実施する等、公園を活用しながら地域活性化へと繋げる取組みができており、非常に評価できる。 ・利用者の要望に応え、子どもの遊び場づくりとして新たな遊具を設置する等、サービス向上及び利用促進を図っており、非常に評価できる。 ・植物に関する豊富な専門的知識を活用し、植物を十分に理解した上で前向きに植栽管理を行うことで、経費削減にもつながっており、評価できる。
	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
	総合評価	A	・事業計画及び本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。